





は、 および必要記入項目です。

\* 該当性別に○を付す

メディカルID										M F								
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

日時	所見	前頁のJ-SPEED#3~#26の該当コードを記載	処置・処方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療場所</li> <li>・所属</li> <li>・医師等サイン</li> </ul>

は、 および必要記入項目です。

\* 該当性別に○を付す

メディカルID									M F						
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--

日時	所見	2頁のJ- SPEED#3 # 26の該当 コードを記載	処置・処方	・診療場所 ・所属 ・医師等サイン

**【転帰】** 年 月 日

1帰宅

2転送(手段: 搬送機関: 搬送先: 年 月 日)

3紹介先

4死亡(場所: 時刻: 確認者: )

**【災害と傷病との関連】**

1有 ( 新規 / 悪化 / 慢性疾患増悪)

2無

3わからない

最終診療記録管理者 \_\_\_\_\_



## 災害診療記録(緊急処置と外傷評価)(裏)

項目は、および必要記入項目です。

メディカルID																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### A 気道の異常

- 口腔内吸引 エアウェイ
- 気管挿管 (挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml)
- 輪状甲状靭帯切開 (気切チューブ 内径 mm カフ ml)

### B・Cの異常

- 酸素投与( L/分)
- 胸腔ドレナージ(右 左 両側 サイズ Fr 吸引圧 cmH2O)
- 気管挿管(挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml)
- 人工呼吸(F<sub>I</sub>O<sub>2</sub> TV ml 換気回数 回/分 PEEP cmH2O)

### Cの異常

- 圧迫止血 細胞外液輸液 心電図モニター
- 心嚢穿刺・切開ドレナージ 胸部X線撮影 骨盤X線撮影
- 骨盤シーツラッピング TAE 外科的治療 四肢の循環障害

### Dの異常

- 酸素投与( L/分)
- 気管挿管(挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml)
- 頭部CT検査

### その他の処置

- 末梢ルート①( G 右 左 上肢 下肢) ②( G 右 左 上肢 下肢)
- NG チューブ( Fr cm固定) 尿道バルーンカテーテル Fr
- 動脈ライン(右 左 上肢 下肢) 末梢血検査 血液ガス分析
- 創傷処置( )
- 投与薬物( )

### 受傷機転

傷病分類 頭頸部(頭部外傷 頸部外傷 頸椎・頸髄損傷)

- 顔面(骨折 眼損傷 耳損傷 鼻出血 口腔損傷)
- 胸部(フレイルチェスト 肋骨骨折(多発) 血胸 気胸)
- 腹部(腹腔内出血 腹膜炎(腹部反跳痛 筋性防御) 腎・尿路損傷(肉眼的血尿) )
- 四肢と骨盤(両側大腿骨骨折 開放性骨折 脱臼 切断 骨盤骨折(不安定型))
- 体表(剥皮創 穿通創 挫創 熱傷(Ⅱ度 Ⅲ度 面積 % 気道熱傷有)
- 圧挫症候群 胸・腰椎(髄)損傷 低体温 汚染(化学物質 放射線)
- その他の傷病名(身体所見) ( )

### 必要な治療・処置

- 外科的治療(緊急手術を要す、待機的手術を要す) 輸血 動脈塞栓術(TAE)
- 創外固定 直達牽引 創傷処置 除染(化学物質 放射性物質)
- 破傷風トキソイド 抗破傷風免疫グロブリン
- その他( )

### 診断、特記事項等(自由記載)

